

サービス提供職員への スーパービジョン

14時20分～16時20分



更新研修2日目のポイント

- スーパービジョンの基本的理解(講義)
- グループワーク。事例を通じてSVを体験(演習)
- 事例を通じて職員へのSVを理解・技術の獲得等(演習)**
- 研修で得られた知識・技術を活用してサビ管・児発管としてスキルアップを図るグループワーク(演習)

～本講義 演習流れ～（14:20～16:20）



導入・説明



個人ワーク



グループワーク



ロールプレイ①



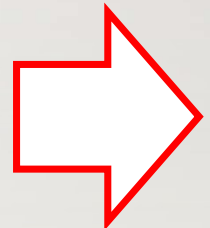
振返りタイム①



ロールプレイ②



振返りタイム②



全体発表

この時間は ロールプレイを行います。

ロールプレイ？

現場や実際の場面を想定し、その中で自分の役割を演じる

(疑似体験する)ことで、スキルを身に付けるという学習方法

※ロールプレイングは、「**役割(role)**」と「**演じる(play)**」を組み合わせた言葉

この時間は ロールプレイを行います。

ロールプレイのメリット

- 学んだ知識をアウトプットすることによる学習効果の向上
- 現場を想定した中で、口に出す・振る舞うことで実践的なやり方が身に付く
- 実践する中で個人ごとの課題や成長テーマが明らかになる
- 「本番」ではないところで、成功体験を積み自信を付けられる
- 実績を上げている人のノウハウや知恵を共有できる

この時間は ロールプレイを行います。

ロールプレイの注意点

- ・ 注意すべき点は 「緊張感の欠如」

演習の目的



職員等へ実施する スーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な 技術を獲得する。

～ スーパービジョンの種類 ～

①個別スーパービジョン

②グループスーパービジョン

③ライブスーパービジョン

④ピアスーパービジョン

⑤セルフスーパービジョン

・管理的機能

・教育的機能

・支持的機能

～ 演習の流れ ～



個人ワーク

5分



グループワーク

60分



ロールプレイ①

8分



振り返りタイム①

10分



ロールプレイ②

8分



振り返りタイム②

10分



全体発表

15分

○受講生 = 福山さん(バイザー)



→あなたはスーパービジョンを
実施するサービス管理責任者

スーパービジョンを実施

●支援員 = 今田さん(バイジー)



現場経験1年目

以前は相談支援専門員

支援

●支援員 = 大泉さん(バイジー)



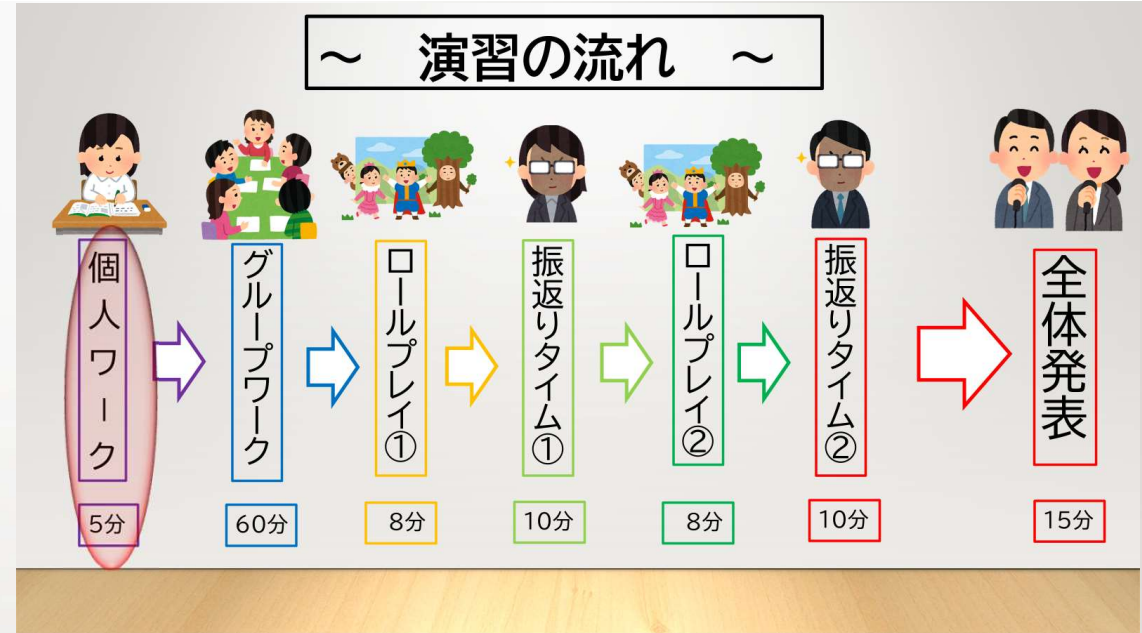
現場経験10年目

支援

◇利用者 = 永瀬さん

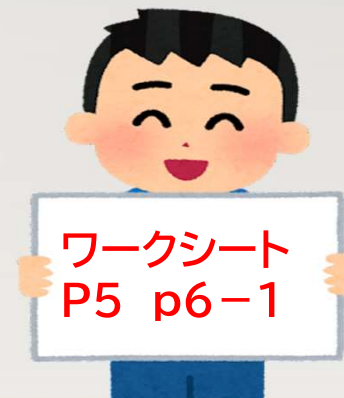
・個人ワーク(5分)

「事例の読み込み」



- ・ 気になったところに線を引いてみましょう

研修ワークシート
(メモも活用してください。)



3 「サービス提供職員へのスーパービジョン」

P5

● 目標

ロールプレイングを通じてサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としてサービス提供職員等へ実施する。スーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。

○事例から学ぶスーパービジョン:障がい者支援施設(入所)でのケース

<事例> 今田さん:支援員(女性)、支援業務 1年目、28歳

大泉さん:支援員(女性)、支援業務10年目、48歳

福山さん:サービス管理責任者(男性) 永瀬さん:利用者(女性)

- ・ 今田さんは相談支援専門員だったが、直接支援がしたいとの思いから配置転換を願い出て、今年度から利用者の直接支援を担当する支援員になった。相談の経験を活かし、利用者の立場と視点で支援を考え、支援の質を向上させたいと仕事をこなしていた。
- ・ ところが最近、なぜか元気がない。サビ管の福山さんがそれとなく「どうしたの?」と尋ねると「個別支援会議で決められたことが、なかなか職員間で共有されてなくて、困ってるんです。」と話し始めた。
- ・ 「昨日の早出で出勤した時、利用者の永瀬さんに起床介助をしたら、永瀬さんは夜間もオムツは着けないことになっているのに、誰かがオムツを着けていました。」
- ・ 「昨日の夜勤は大泉さんだったので聞いてみたら「へえ～、夜間はオムツを着けないんだ?そんなこと、いつ決まったの?」と普通に言われました。」
- ・ 私が「この前の個別支援会議で決まったでしょ?」と言うと「私は出てないんだから、そんなこと知らないわよ」と言って、そのまま食堂に行ってしまいました。」
- ・ 「私は利用者さんの支援を統一するために個別支援会議をしていると思っていたのに、そこで決められたことが職員間で共有されないんだったら、何のための会議なのか…もうわからなくなってしまいました。」と、思い詰めた表情で話をした。
- ・ 福山さんは当日の夜勤者の大泉さんと面談を行った。「永瀬さんのオムツのこと、個別支援会議で決まった内容は知ってるの?」と尋ねてみた。
- ・ 大泉さんは「知ってるけど、寝ている永瀬さんをわざわざ何回も起こしてポータブルトイレに座ってもらうより、しっかり寝てもらう方が大切だと思うからこそオムツを着けたんです。」と硬い表情で話した。
- ・ 「そうなんだ。だったら、そのことを会議で伝えてあげたらいいのに。」と助言すると「大勢の前で話すのがちょっと……。永瀬さんのこと考えたら……。」
- ・ 「今田さんは…自分が相談員だったからって、今までのやり方をみんな変えようと…支援員としてはまだ新人なんだから、今までのやり方を尊重するべきなのに」と大泉さんは今田さんの批判を始めてしまった。福山さんは状況がある程度は把握できたが、今田さんに説明をする等、対応ができないままに数日が過ぎてしまった。すると
- ・ 「やっぱり、他の支援員さんとうまくいなくて…」と今田さんが再び相談に来た

○ワーク3－1＜スーパービジョンの演習＞

※ あなたはサービス管理責任者である福山さんです！！

「サビ児管業務としてスーパーバイザーの役割を担うあなたは、今田さん／大泉さんに対してどのようなスーパーバイズを行いますか？」

気になったところに線を引きましょう。

□①個人ワーク－「事例の読み込み」(5分)

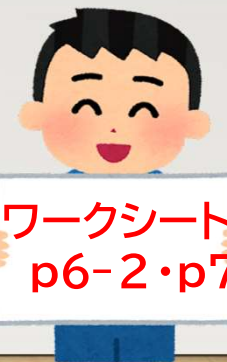
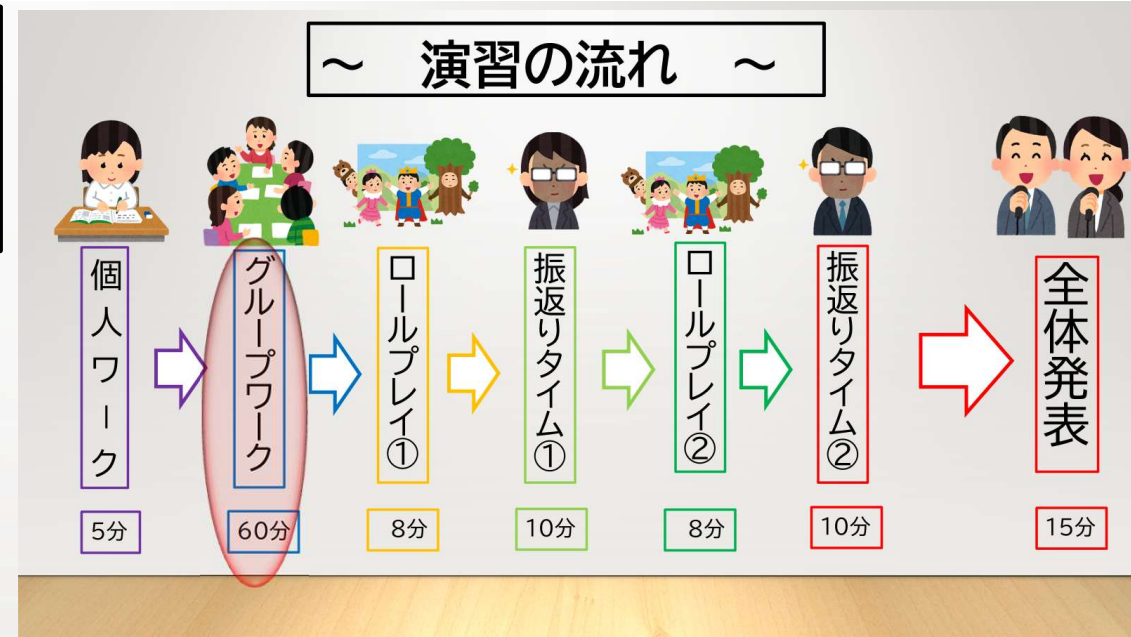
p6－1

－メモ－

・グループワーク (60分)

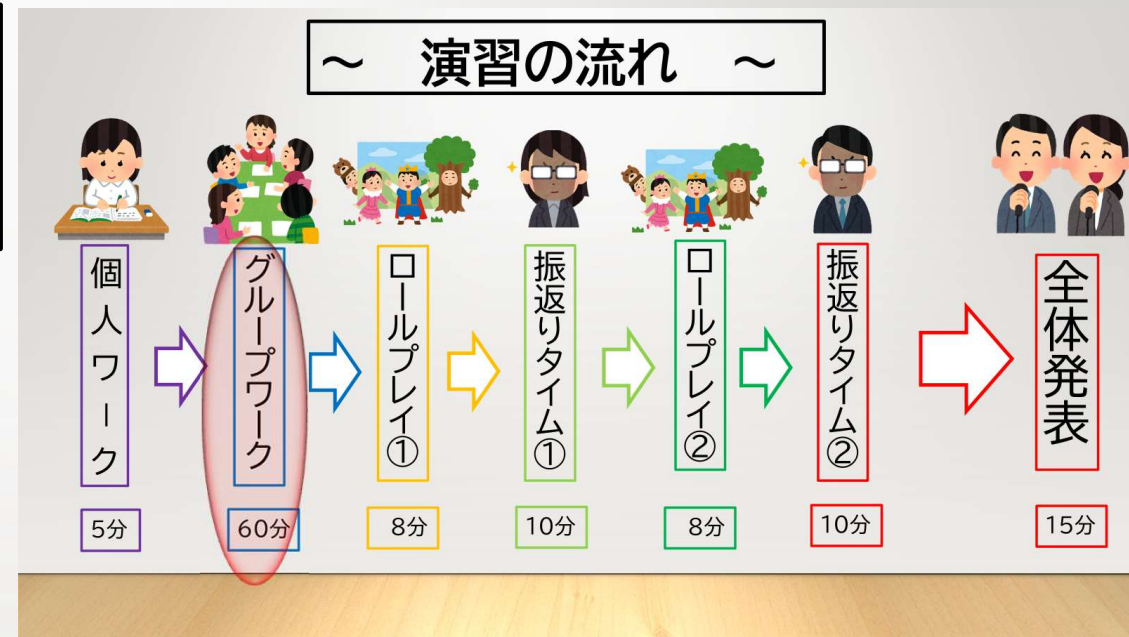
「グループワークでやること」

- 1 司会と書記を決めます
- 2 個人ワークの内容を共有を行います (10分)
- 3 人物像の設定(今田さん・大泉さん)(5分)
- 4 ロールプレイ時 SVとしてのどんな言葉かけをするかを考えます
(場面・流れの構成作りをします。ロールプレイ① ② 45分)



・グループワーク (60分)

「グループワークでやること」



1 「司会」と「書記」を決めます

書記はA3用紙に記入をお願いします

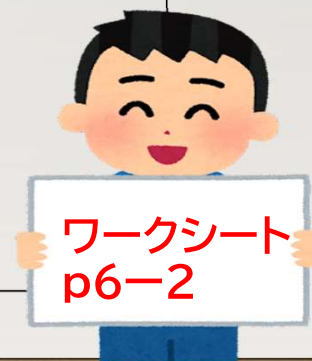
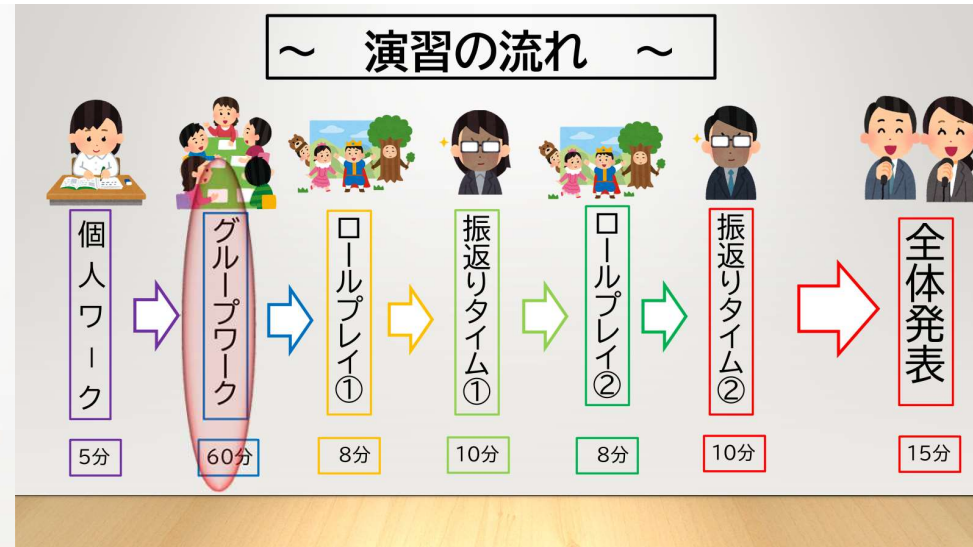
・グループワーク

2 「個人ワークの内容の共有」 (10分)

司会の進め方 考える際のポイント

① どこが気になったか？(線を引いたところ)
(1人 1つ 皆さんと共有してください)

↓ ↓
② その理由を共有してください



□②グループワーク「個人ワーク共有・人物設定」(15分)

司会:

書記:

p6-2

① どこが気になったか？(線を引いたところ)・箇条・キーワードのみで
(1人 1つ 皆さんと共有してください)

② その理由を共有してください

③ 人物像(今田さん)

④ 人物像(大泉さん)

・グループワーク

司会・書記決め



個人ワークの共有（10分）：迄



人物像の設定（5分）



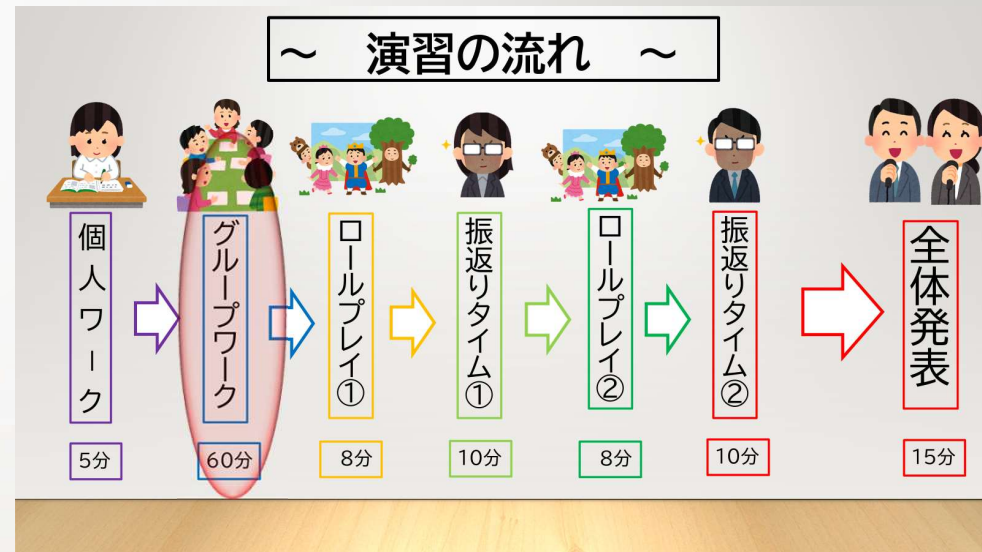
場面・流れの構成作り（40分）



ロールプレイの実施

・グループワーク

3 「人物像の設定」 (5分)



・人物像 キャラ設定 今田さん

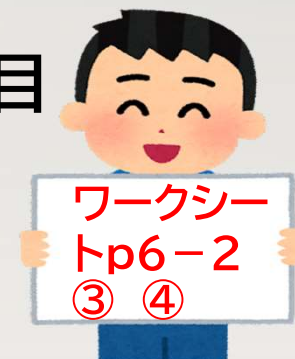


・28歳 女性 支援業務1年目
相談支援専門員としての実績あり

・人物像 キャラ設定 大泉さん



・48歳 女性
支援業務10年目



・人物像 設定 福山さんはあなた自身です。

□②グループワーク「個人ワーク共有・人物設定」(15分)

司会:

書記:

p6-2

① どこが気になったか？(線を引いたところ)・箇条・キーワードのみで
(1人 1つ 皆さんと共有してください)

② その理由を共有してください

③ 人物像(今田さん)

④ 人物像(大泉さん)

・グループワーク

司会・書記決め



個人ワークの共有（10分）



人物像の設定（5分）：迄



場面・流れの構成作り（40分）



ロールプレイの実施

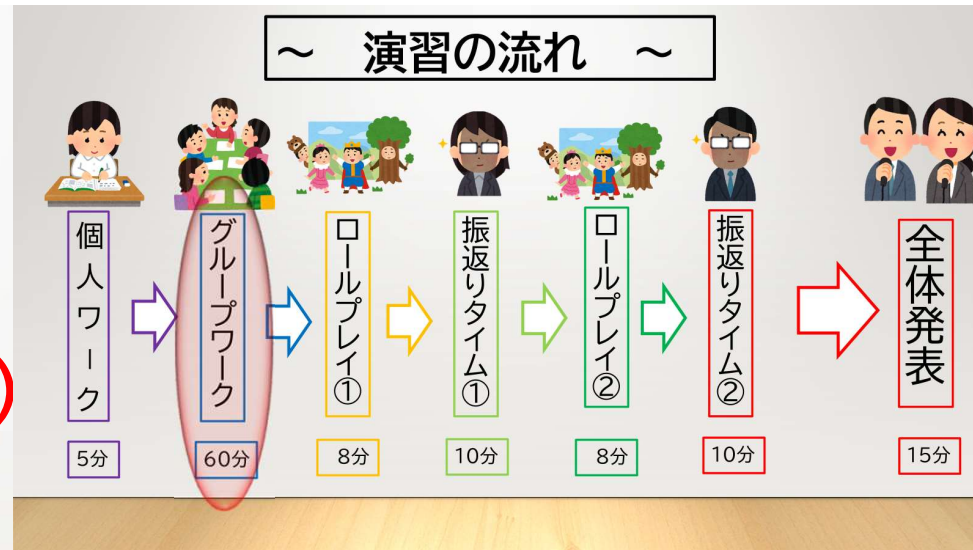
・グループワーク

4 「場面・流れの構成作り どんな言葉かけ？」 (個人ワーク5分+グループ共有40分)

司会の進め方 考える際のポイント

- ・ 今田さん 大泉さんに気づいてほしいこと
- ・ 実際 ロールプレイ① ②する際にどのような言葉・声かけがよいか

※余裕があれば、その他(環境設定・時間・場所・座る位置なども考えてください)



ワーク
シートp7

OSVを行う上で気を付けること＝SVのステップを意識して、ロールプレイを行う。

傾聴の技術



(Step1)相手の傍らで、心を開き、意識を集中する

※ うなづき あいづち 沈黙 姿勢 距離

(Step2)言葉を聞くのではなく、相手の気持ちに近づく

※ 繰り返しの技法

(Step3)話の内容を短くまとめて相手に返す

※ 要約の技法 言い換えの技法

(Step4)相手の今後の方向性に対する考えを引き出す

※ 質問(オープン) 承認 明確化(感情・事柄)

(Step5)相手の考えを認め、具体的な行動を引き出す

※ 質問(オープン) 承認 明確化(感情・事柄)

19

STEP1. 相手の傍らで心を開き、意識を集中する。

→話を聞く姿勢・位置等を考慮し、対象者に心を開いた状態で傍らにいる

STEP2. 言葉を聞くのではなく、今田さん/大泉さんの気持ちに近づく。

→同じ言葉を返す

STEP3. 話の内容を短くまとめて相手に返す。

→話された内容を短くまとめて「こんなことなのですね」と相手に返す

STEP4. 今田さん/大泉さんの今後の方向性に関する考え方を引き出す。

→開かれた質問で場面の判断と実際の行動を吟味する

STEP5. 今田さん/大泉さんの考え方を認めて、具体的な行動を引き出す。

→吟味した内容から解決に向けて今後の行動を引き出す

P7

P7

P7

P7

P7

スーパービジョンをする上で気をつけること

- ①話がしやすく、表情やしぐさが確認できる配席・雰囲気
- ②いきなり本題は「×」、まずはアイスブレイクから
- ③時系列に沿った話の流れを作ること整理がしやすい
過去:これまでの流れ → 現在:現状・課題 → 未来:改善方法
- ④語るのはバイジー ⇔ 話を引き出すのがバイザー
- ⑤バイザーの考え・助言を出しすぎない、押し付けない
- ⑥誰かに・何かに対する批判をする場ではない

・グループワーク

司会・書記決め



個人ワークの共有（10分）



人物像の設定（5分）



場面・流れの構成作り（40分）：迄



ロールプレイの実施

・ロールプレイ①(8分)

<配役を決めてから開始>

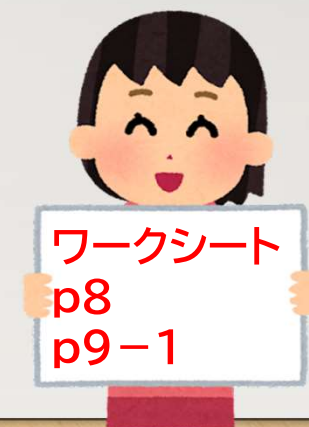
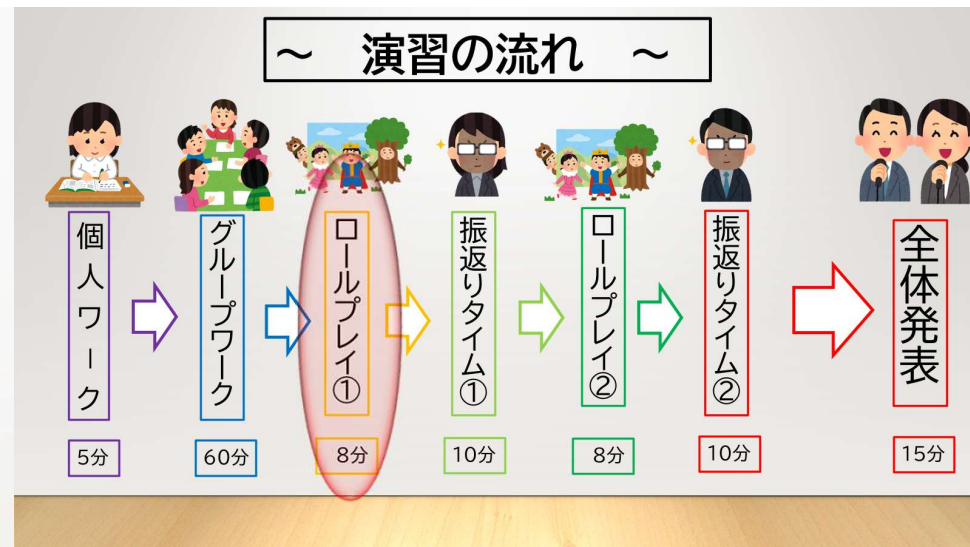
①福山さん ②今田さん (1分)

「福山さん
→今田さんへのスーパービジョン」

ポイント=SVの5ステップを意識！

場面・流れの構成はグループワークでの内容

◎配役者以外は観察者。気づきはメモを！



OSVを行う上で気を付けること＝SVのステップを意識して、ロールプレイを行う。

傾聴の技術



(Step1)相手の傍らで、心を開き、意識を集中する

※ うなづき あいづち 沈黙 姿勢 距離

(Step2)言葉を聞くのではなく、相手の気持ちに近づく

※ 繰り返しの技法

(Step3)話の内容を短くまとめて相手に返す

※ 要約の技法 言い換えの技法

(Step4)相手の今後の方向性に対する考えを引き出す

※ 質問(オープン) 承認 明確化(感情・事柄)

(Step5)相手の考えを認め、具体的な行動を引き出す

※ 質問(オープン) 承認 明確化(感情・事柄)

19

STEP1. 相手の傍らで心を開き、意識を集中する。

→話を聞く姿勢・位置等を考慮し、対象者に心を開いた状態で傍らにいる

STEP2. 言葉を聞くのではなく、今田さん/大泉さんの気持ちに近づく。

→同じ言葉を返す

STEP3. 話の内容を短くまとめて相手に返す。

→話された内容を短くまとめて「こんなことなのですね」と相手に返す

STEP4. 今田さん/大泉さんの今後の方向性に関する考え方を引き出す。

→開かれた質問で場面の判断と実際の行動を吟味する

STEP5. 今田さん/大泉さんの考え方を認めて、具体的な行動を引き出す。

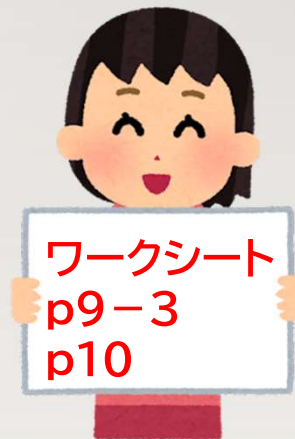
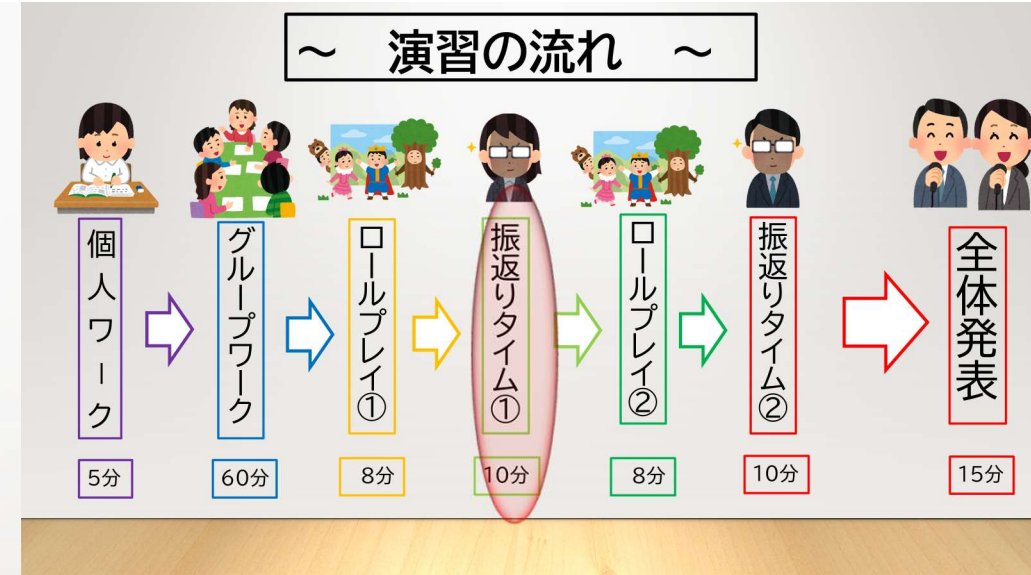
→吟味した内容から解決に向けて今後の行動を引き出す

・振り返りタイム①(10分)

個人ワーク

ロールプレイ①の振り返り(3分)

- ・チェックリストの作成
各グループの状況に応じた内容でチェックする。



・ロールプレイ①「今田さんに対する、福山さんによるSV」

p9—1

ーメモー

・ロールプレイ②「大泉さんに対する、福山さんによるSV」

p9—2

ーメモー

・ワーク3—4「ロールプレイ①／②を実施しての振り返り」

p9—3

◎チェックリストの活用も

スーパービジョンのチェックリスト:参考資料(P10)

実施日: 年 月 日()

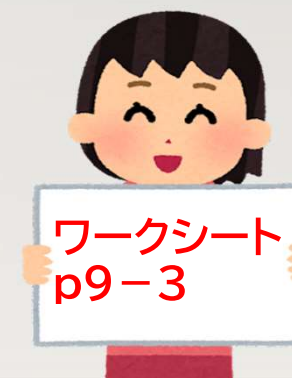
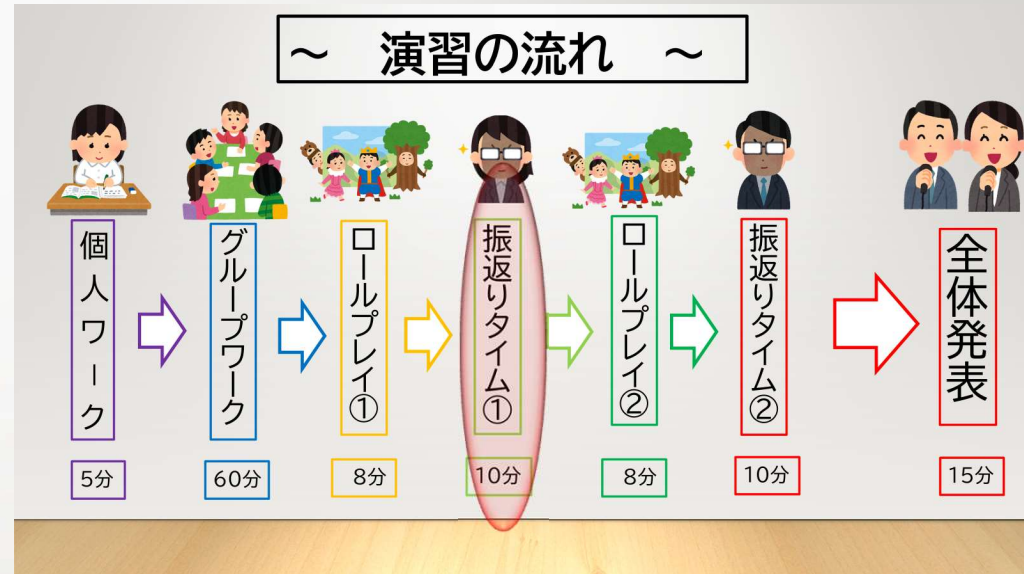
対象者: 実施者:

		よい←					→よくない				
面談の環境設定	面談に適した場所の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	面談の際の向きの配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	相手との距離の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
ステップ1	相手に意識を集中することができたか	5	4	3	2	1					
	沈黙に耐えられたか	5	4	3	2	1					
	相手の身体表現が感じられたか	5	4	3	2	1					
ステップ2	相手の気持ちを自分の経験で捉えたか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちを分析したか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちに近づいたと感じたか	5	4	3	2	1					
ステップ3	相手の話の核心が理解できたか	5	4	3	2	1					
	相手の話の核心を返すことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ4	相手の行動の根拠を吟味できたか	5	4	3	2	1					
	相手の新たな方向性を導くことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ5	相手の新たな考えを認めることができたか	5	4	3	2	1					
	相手の具体的な行動が引き出せたか	5	4	3	2	1					

・振り返りタイム(10分) グループワーク

・グループで共有の時間 ロールプレイ①の振り返り(7分)

- ・演じた方の感想、演じた上でのポイント
- ・困り感が改善し、前向きな気持ちになれたか？
- ・対応方法を見出すことができたか？
- ・観察者の感想、アドバイス
- ・今後、参考にしたいと思ったこと・チェックリストの活用 など..



・ロールプレイ①「今田さんに対する、福山さんによるSV」

p9—1

—メモ—

・ロールプレイ②「大泉さんに対する、福山さんによるSV」

p9—2

—メモ—

・ワーク3—4「ロールプレイ①／②を実施しての振り返り」

p9—3

◎チェックリストの活用も

スーパービジョンのチェックリスト:参考資料(P10)

実施日: 年 月 日()

対象者: 実施者:

		よい←					→よくない				
面談の環境設定	面談に適した場所の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	面談の際の向きの配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	相手との距離の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
ステップ1	相手に意識を集中することができたか	5	4	3	2	1					
	沈黙に耐えられたか	5	4	3	2	1					
	相手の身体の様子が感じられたか	5	4	3	2	1					
ステップ2	相手の気持ちを自分の経験で捉えたか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちを分析したか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちに近づいたと感じたか	5	4	3	2	1					
ステップ3	相手の話の核心が理解できたか	5	4	3	2	1					
	相手の話の核心を返すことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ4	相手の行動の根拠を吟味できたか	5	4	3	2	1					
	相手の新たな方向性を導くことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ5	相手の新たな考えを認めることができたか	5	4	3	2	1					
	相手の具体的な行動が引き出せたか	5	4	3	2	1					

・ロールプレイ②（8分）

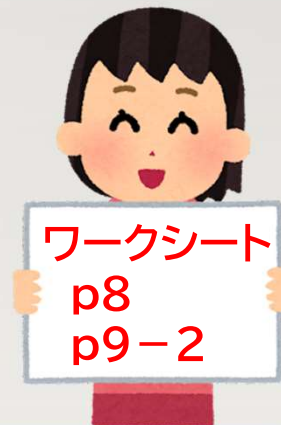
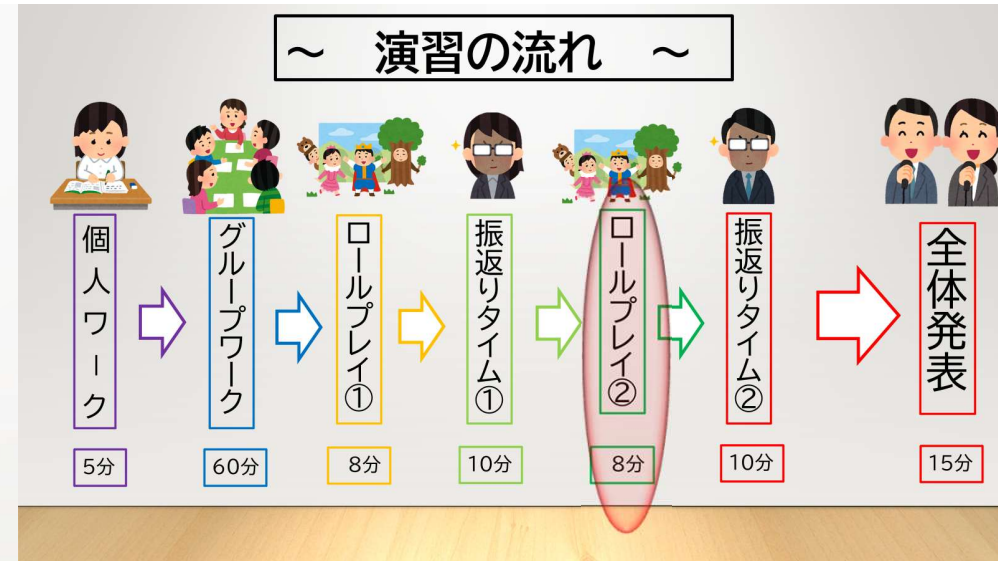
<配役を決めてから開始>
福山さん 大泉さん(1分)

「福山さん
→大泉さんへのスーパービジョン」

ポイント＝SVの5ステップを意識！

場面・流れの構成はグループワークでの内容

◎配役者以外は観察者。気づきはメモを！



OSVを行う上で気を付けること＝SVのステップを意識して、ロールプレイを行う。

傾聴の技術



(Step1)相手の傍らで、心を開き、意識を集中する

※ うなづき あいづち 沈黙 姿勢 距離

(Step2)言葉を聞くのではなく、相手の気持ちに近づく

※ 繰り返しの技法

(Step3)話の内容を短くまとめて相手に返す

※ 要約の技法 言い換えの技法

(Step4)相手の今後の方向性に対する考えを引き出す

※ 質問(オープン) 承認 明確化(感情・事柄)

(Step5)相手の考えを認め、具体的な行動を引き出す

※ 質問(オープン) 承認 明確化(感情・事柄)

19

STEP1. 相手の傍らで心を開き、意識を集中する。

→話を聞く姿勢・位置等を考慮し、対象者に心を開いた状態で傍らにいる

STEP2. 言葉を聞くのではなく、今田さん/大泉さんの気持ちに近づく。

→同じ言葉を返す

STEP3. 話の内容を短くまとめて相手に返す。

→話された内容を短くまとめて「こんなことなのですね」と相手に返す

STEP4. 今田さん/大泉さんの今後の方向性に関する考え方を引き出す。

→開かれた質問で場面の判断と実際の行動を吟味する

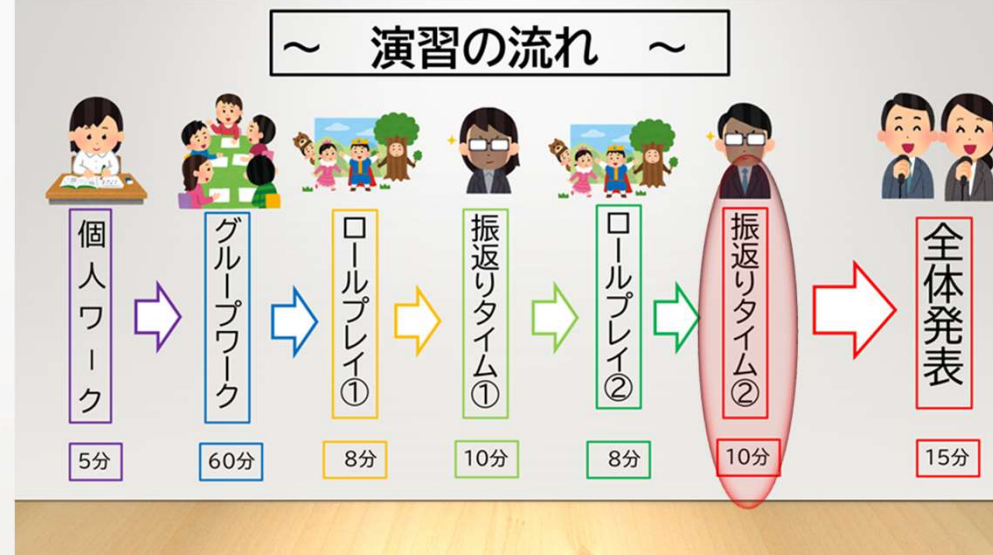
STEP5. 今田さん/大泉さんの考え方を認めて、具体的な行動を引き出す。

→吟味した内容から解決に向けて今後の行動を引き出す

・振り返りタイム(10分)

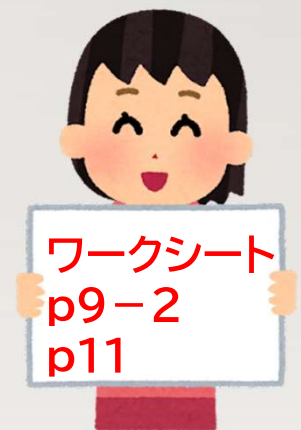
個人ワーク

ロールプレイ②の振り返り(3分)



チェックリストの作成

各グループの状況に応じた内容でチェックする。



・ロールプレイ①「今田さんに対する、福山さんによるSV」

p9—1

—メモ—

・ロールプレイ②「大泉さんに対する、福山さんによるSV」

p9—2

—メモ—

・ワーク3—4「ロールプレイ①／②を実施しての振り返り」

p9—3

◎チェックリストの活用も

スーパービジョンのチェックリスト

p11

実施日： 年 月 日()

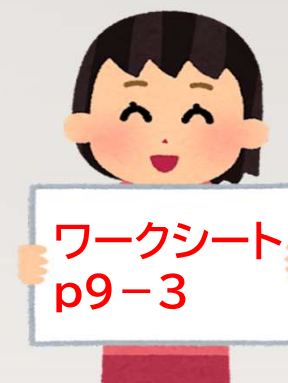
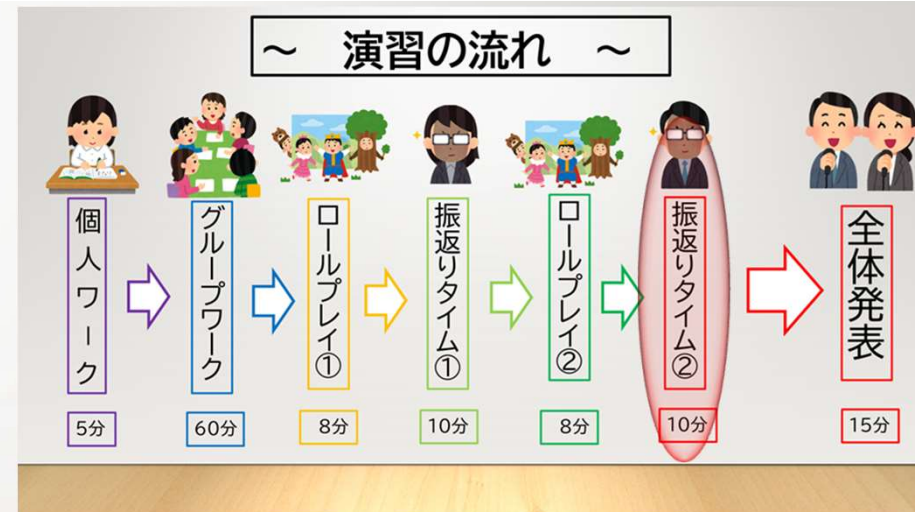
対象者： 実施者：

		よい←					→よくない				
面談の環境設定	面談に適した場所の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	面談の際の向きの配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	相手との距離の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
ステップ1	相手に意識を集中することができたか	5	4	3	2	1					
	沈黙に耐えられたか	5	4	3	2	1					
	相手の身体の様子が感じられたか	5	4	3	2	1					
ステップ2	相手の気持ちを自分の経験で捉えたか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちを分析したか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちに近づいたと感じたか	5	4	3	2	1					
ステップ3	相手の話の核心が理解できたか	5	4	3	2	1					
	相手の話の核心を返すことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ4	相手の行動の根拠を吟味できたか	5	4	3	2	1					
	相手の新たな方向性を導くことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ5	相手の新たな考えを認めることができたか	5	4	3	2	1					
	相手の具体的な行動が引き出せたか	5	4	3	2	1					

・振り返りタイム②(10分)

グループでの共有の時間 ロールプレイの振り返り② (7分)

- ・演じた方の感想、演じた上でのポイント
- ・困り感が改善し、前向きな気持ちになれたか？
- ・対応方法を見出すことができたか？
- ・観察者の感想、アドバイス
- ・ロールプレイ①と②で、何か違いはあったか？
- ・今後、参考にしたいと思ったこと・チェックリストの活用 など・・



全体発表に向けての準備もお願いします。

・ロールプレイ①「今田さんに対する、福山さんによるSV」

p9—1

—メモ—

・ロールプレイ②「大泉さんに対する、福山さんによるSV」

p9—2

—メモ—

・ワーク3—4「ロールプレイ①／②を実施しての振り返り」

p9—3

◎チェックリストの活用も

スーパービジョンのチェックリスト

p11

実施日： 年 月 日()

対象者： 実施者：

		よい←					→よくない				
面談の環境設定	面談に適した場所の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	面談の際の向きの配慮は適切か	5	4	3	2	1					
	相手との距離の配慮は適切か	5	4	3	2	1					
ステップ1	相手に意識を集中することができたか	5	4	3	2	1					
	沈黙に耐えられたか	5	4	3	2	1					
	相手の身体表現が感じられたか	5	4	3	2	1					
ステップ2	相手の気持ちを自分の経験で捉えたか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちを分析したか	5	4	3	2	1					
	相手の気持ちに近づいたと感じたか	5	4	3	2	1					
ステップ3	相手の話の核心が理解できたか	5	4	3	2	1					
	相手の話の核心を返すことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ4	相手の行動の根拠を吟味できたか	5	4	3	2	1					
	相手の新たな方向性を導くことができたか	5	4	3	2	1					
ステップ5	相手の新たな考えを認めることができたか	5	4	3	2	1					
	相手の具体的な行動が引き出せたか	5	4	3	2	1					

全体発表(^^♪

各グループ発表 (15分)

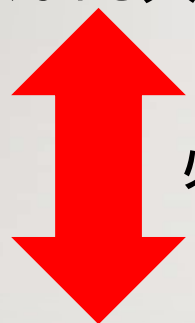
グループファシリテーターも準備をお願いします。

・実際やってみて♪

グループ内でSVの方向性を検討しましたが。。

今田さんVS大泉さんの「対立の解決」が

テーマになっていませんか？



必要なのは

根拠に基づく支援の再検討・全体への再周知

・永瀬さんの「おむつをつけない／つける」

・今田さんの価値観：大泉さんの想いは

誰のニーズ？

どこを振り返り！！
どこに気づきを！！

誰が？

どうして？

誰のため？

ニーズ＝支援の根拠 ← **支援者のエゴ**



スーパービジョンとは・・・

- ・スーパーバイザー(今田さん・大泉さん)が利用者(永瀬さん) にどのような関わりをしているのか？
- ・その中でスーパーバイザーを支持しつつ、何を考え・感じ・学ぼうとしているのかをスーパーバイザー(福山さん)がくみ取って、スーパーバイザーの学びをより深めていく作業。
- ・**事例はそのための素材**として使用される。

スーパーバイザーの心構え

- ・ 語りすぎない → スーパーバイザー(SV)の焦り
- ・ 沈黙し過ぎない → スーパーバイザー(SV)の不安・困惑
- ・ 教示的にならない → スーパーバイザー(SV)の不安

※バイザーに十分に「受け入れてもらえた」という体験を実感できることが、バイザーに「支援者としての態度」を育てることにつながる。

最後に・・・

人の行動の背景には、自分なりの価値観、経験等があります。課題となる行動の背景にもこの価値観が裏打ちされています。行動変容を促すにはその価値観や行動の背景にある考え方に「気づき」・「振り返り」(内省) する必要があります。

- ・ 独りよがり、幅の狭い支援にならないために
- ・ スーパービジョンを行うことで、「気づき」と「振り返り」(内省)を促し、新しい行動へとつなげていきましょう